



実習前に！ 院内研修に！

関わり・対話で、 判断に迷うビミョーな場面、 あなたならどうする？

企画の意図 (編集部より)

精神科病院内での患者さんと看護師のやりとりを再現した動画教材をお届けします。
どう対応したらよいか判断に迷う、微妙な場面ばかり9種類です。

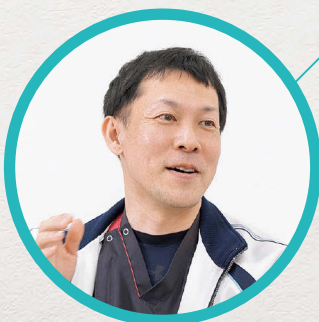
この動画制作を担ってくださったのは、精神科医療の現場にどっぷりと浸かり、関わってきた5人の精神科看護師の方たちです。

制作者たちには、次のような意図がありました。

- 精神疾患を持つ人と関わったことがない人の中には、精神科の雰囲気や入院している患者さんを怖いと思っている人がいるが、それは、メディアや教材などから得た誤ったイメージであることが多い。
- 実際に精神科病棟で出会うさまざまな患者さんの様子を再現し、患者さんの言葉や行動の意味について考え、「怖い」とか「よくわからない」ではなく、より良いコミュニケーションを考えられるような動画教材を作りたい。

八田篤郎さん

医療法人尚生会湊川病院・副看護部長（教育担当）／
CNS 室・室長
（精神看護専門看護師）



松村麻衣子さん

大阪信愛学院大学
看護学部・助教
（精神看護専門看護師）



動画・写真撮影：亀井宏昭（亀井宏昭写真事務所）

視聴方法

1～9 場面全部が
ここから見れます

パソコンやスマホでURLを打ち込むか、
右の QR コードを読み込んでください。

<https://x.gd/nl8TE>

*パスワード等はありません！



【動画の構成】

1つの場面に対して2つの対応をお見せします。

前半は、「改善の余地があると思われる対応バージョン」です。自分だったらどうするかを考えながら観てください。

後半は、「患者さんに寄り添い、なおかつ看護としての役割を果たしていると思われる対応バージョン」です。前半と何が違ったかを考えてみてください。

なお、後半も「これが唯一の正解だ」とは考えていません。あくまで1つの対応例です。ただ、患者さんの顔や、場の緊張感は明らかにゆるやかなものへと変わっています。その理由を考えてもらえたら、何らかの気づきが得られるかもしれません。

各場面は最大でも8分と、短かめなので活用しやすくなっています。

＼こんなふうにご活用ください／

- ✦ **学校教員の方は**——患者さんの「精神状態」を解説するための動画教材として。また、実習開始前に視聴してもらい、グループディスカッションへ導くのもおすすめです。
- ✦ **実習担当者の方は**——患者さんとのやりとりを学生がイメージするきっかけに。
- ✦ **院内研修担当者の方は**——他の看護師のコミュニケーション場面をまとめた時間をかけて見る機会はなかなかないと思います。コミュニケーションスキルや接遇のブラッシュアップをはかる研修等に、また、新人や中途採用者の教育用ビデオとしても活用ください。

内倉 唯さん

湊川病院・看護師

高島佳之さん

梅花女子大学
看護保健学部・助教
(精神看護専門看護師)

高橋篤信さん

大阪信愛学院大学
看護学部・講師

訪問看護ステーション
ペルソナ本店・
代表取締役

